

## 支え支えられる力

筑西市立下館中学校

三年 牛木 南

私の母はハローワークで働いている。

仕事を探す人、働いてくれる人を探す事業所、毎日たくさんの方が来るそうだ。

「お金は払うの？」

私は疑問に思い、聞いてみた。

「お金はかからないよ。」

と母は教えてくれた。

そうなんだ。無料なんだ。なんか凄いとってしまった。

そしてどうして無料なのかを詳しく教えてくれた。

無料で紹介出来るのは厚生労働省が運営するサービスだから。民間運営の求人サイトなどであれば、売上をあげる必要があるため、求人掲載するのに費用がかかるけれど、ハローワークは国が運営しているので費用は掛からないそうだ。なんて凄いな。

ほかに、自己分析や職業訓練の相談が受けられるそうだ。

ハローワークでは無料で様々なサービスを受けられる。これも大切な税金からまかなわれていることを私は初めて知った。

仕事をして税金を払い、買い物をして税金を払う。でもそれは循

環し、仕事を探す人のためにも使われる。

私たちは誰かの未来と幸せのために税金を納め、またそれが自分に回ってくる。

私たち中学生はまだ働いていないけれど、お小遣いで買い物をして「消費税」という税金を納めている。

私たちが納める消費税は少ないかもしれないけれど、これがたくさんの人を支えるひとかけらとなり、活かされることを願う。

今は恩恵を受けて、成長していこう。

そして社会人となり働く立場になったら、たくさん納税して、この日本を支えてくれたお年寄りや未来の子供たちが安心して暮らせる社会にしていきたい。

身近なところで税金が使われていることを母の仕事で知り、税金の大切さを学ぶことになった。

安定した暮らしや健康で文化的な社会を実現するためにどれだけ税金が必要とされるかを常に把握しながら、たくさんのお金を学んでいきたい。